

公益社団法人 日本技術士会 神奈川県支部（CPD行事他）実施報告書

開催日	平成28年2月23日（火）
開催時間	13:00～18:30
名称	平成27年度地域産業活性化研究会 in 横浜 －技術マッチング オープンイノベーション－
主催者	技術士活性化委員会（共催：横浜商工会議所）
開催場所	産業貿易センタービル9階 横浜シンポジア
行事内容 (100文字程度)	技術の不確実性が増し、企業間競争が激化している現在、異なる企業などが分野と組織の垣根を超えて参画し、新たなアイデアとサービスを生み出すオープンイノベーションは重要な取り組みである。国の政策と先進的企業での技術ニーズ・探索技術などが紹介された。
参加人数	技術士 56名、企業 25名、講演者・招待者 7名

概要

基調講演：「地域イノベーションとオープンイノベーション政策について」

講師 竹上 嗣郎 氏（経済産業省 技術政策企画室長）

オープンイノベーションについて、求められる課題などにつき、自身の経験に基づき解説された。異なる主体との連携の必要性、技術など他人にわかりやすく伝達することの重要性、リスクとチャンスなどの説明があった。

事例1, 2, 3：「オープンイノベーション要求技術内容・分野の紹介」

講師：大倉 良一 氏（大阪ガス 技術戦略部 課長）、

笹尾 博行 氏（大気社 環境システム事業部 副センター長）、

井上 誠一 氏（よこはまティーエルオー 社長）

先進的な各社の技術ニーズ・技術シーズの例が紹介された。大阪ガスの事例として、2009年から技術ニーズを公開、2014年から保有技術を公開し、2015年の技術ニーズの紹介があった。これまでに157件の技術導入を行っている。

異なる主体の技術の橋渡し役としての技術士の活躍の場は広がると感じた。



写真：主催者挨拶と会場風景